

平成 28 年度町政懇談会記録加（要旨）

開催日：平成 28 年 7 月 2 日（土）

開会：午後 6 時 30 分 閉会：午後 8 時 01 分

場所：城山 1 丁目集会所

参加者：男 24 人、女 19 人 計 43 人

町職員：町長、副町長、総務部長、財政課長、町民課、政策課

○懇談

男性

総合戦略の中で人口が減少していくと書いてありますが、それに対しての起爆剤というものはないのでしょうか。東員町は名物がないと私は思っています。特産物をつくるのか、教育に力をいれるのか、農業、産業、工業色々あると思いますが、若い人達が東員町に引っ越してきていただけるようなものを、と考えると私は教育だと思っています。特にこれからは語学が大切になってくると思います。場所は、小学校の教室が空いているので、後は講師ですが、ボランティアで募集すれば出来る気がするんです。語学教育に力をいれればもっと若い人達が転入してくれると思います。

町長

ありがとうございます。非常にいい提案をしていただいたと思います。東員町には特産品がないじゃないかと言われました。そのとおりなんです。ですので、特産品をつくろうと新しい農業を始めました。今、町の職員がぶどうとブルーベリーの栽培をしています。あと 2 年くらいで成果が出てくると思っています。他にも特殊なトマトや柿など特色ある農業にチャレンジしていきたいと思っています。さらにその収穫物を加工して売り出していくのにスイーツを考えていまして、今役場の職員で一生懸命考えています。

職員で考えたアイデアを、町内の業者に持ち込んで、そこで作っていただくというのをやっていきたいと考えています。やはり、東員町といたらこれだよ、というものを作っていかねばいけないと思っています。

語学については、今年東員町で英語と日本語併記のパンフレットを作成しました。本当は 5ヶ国語くらい作りたかったのですが、予算の関係で断念しました。提案していただいた様な取り組みは、空き家の活用方法のひとつとしてこれから考えていきたいと思っています。

女性

行政がリーダーシップをとってしていただくのはいいことだと思いますが、生産者がそれを本当に望んでいるのか。東員町で農業に関わっている方がどれくらいいるのか分かりませんが、団地にもふれあい農園を借りている方もいますし、退職してからそういうことをしたいと思っている人もいます。そういう人達を巻き込んで根付かせ

ていくことが大切だと思います。

町長

なぜ農業なのか、といいますと、東員町は昔から農業の町なんです。ただ、東員町の農業は米なんです。今の時代T P Pもありますし、米ではなかなか儲からないんです。しかし農地はたくさんあるのでそれを活かしていかなければならない。農地をつぶして開発することは、規制があって出来ないの、農地を、いかにお金を生む土地に変えていくか、ということを考えていかなければなりません。現在、長深の耕作放棄地を復元させて、行政でぶどう・ブルーベリーの栽培をしまして、あと2、3年で成果が出てくると思います。上手くいけばそれを農家の方に移転して引き続き栽培をしていただきます。その隣では名古屋の学習塾の子ども達に農業体験をさせる、という取り組みが行われています。また、障がい者の方々に農地で働いてもらって収入を得てもらい、という取り組みもしています。いずれも、ちゃんと出来るように地域の農業をやってみえた高齢者にお手伝いをいただきながらやらせてもらっています。こういうことを拡大していき、儲かる農業を目指していきたいと思っています。

また、ふれあい農園は、農協が管理していただいている土地ですが、それは家庭菜園をしていただく人のために区画してご提供させていただいています。今後需要が増えれば、新しい土地を探して規模を拡大していかなければならなくなるかもしれませんが、現時点では需要と供給があっているのかなと考えています。

そんなかたちで現在行っていますので、またご意見あれば役場までご連絡いただければと思います。よろしく申し上げます。

男性

春先に、こども歌舞伎とか上げ馬神事とかありますが、そういう文化的な要素についてです。何ヶ月か前にNHKで北海道の過疎の村についての放送がありました。名物が何もないということで、15、6年ほど前にいわゆる「～甲子園」と題して雑誌メーカーと自治体が写真大会を開催しまして、それが全国的に有名になったというものでした。産業的なものもいいのですが、そういう文化的なものにも力を入れていただきたいと思います。

町長

今日の午前中に若者会議というものを開催しまして、その中でも同様のご意見をいただきました。中部公園が1つピックアップされて、イベントを何かしたいよねとなったのですが、イベントをやるなら最低でも掛かった費用をまかなえるイベントにしてね、とそんな話をさせていただきました。1年目、2年目はボランティアでもいいと思うんですが、3年目以降続けようと思うとなかなか難しいと思います。1日千円くらいの日当と弁当くらいは出せる、それくらいじゃないと声を掛けづらくなると思うんです。また、場所を提供すると芝が荒れてしまうとか管理の問題も出てきますので、それをまかなえるくらいの収入を見込んで欲しいという話をしました。これからは行政はもちろんですが、町民の皆様にも、かかったぶんくらいはまかなえる、そういうことを意識してやっていただきたいと思います。こども歌舞伎も3年位

前まではずっと無料でした。今は千円とっています。教育長は大丈夫かなと心配していましたが、結果お客さんは増えています。非常にすばらしいものを見せてもらっていますから、感動して次も見に来るということになっています。当然有償、そういう感覚になってきています。

教育長がいつも、東員町には3つ手作りで盛り上がる文化行事があると言っています。それは、こども歌舞伎とミュージカル、そして日本の第九。町民と一緒に盛上がる行事で、これらは全部有料になっています。こういうことを今後、皆でやっていかなければならないとそう考えています。

男性 ぜひ全国に発信して行って欲しいと思います。上げ馬神事も多度の方が有名ですし簡単にはいかないと思いますが、ぜひ情報発信をして行って欲しいと思います。

男性 こども歌舞伎ですが、親御さんとか文化協会の方が無理して売っているということは頭の中に入れておいてください。

女性 子どもがこども歌舞伎をやっていますが、無理してということではないので大丈夫です。

男性 そんな声も聞かれますので。

町長 詳しくは分かりませんが、1番最初に私の同級生5人くらいに売ったんです。来た同級生も最初はいいやいや来たと思うんですが、見終わって感動して帰っていきました。次の年には10人になって、今年は15人になりまして、どんどん増えていっているんです。開演する時には、絶対知らせてくれ、となっているんです。我々もチケット販売に協力していますので大丈夫です。

男性 防災の話で水不足が第一だ、というお話でしたが、行政で出来ること、出来ないことがあるのであれば、町からもっと水は各自で備蓄してください、水は何リットルいるのかももっと提言して欲しい。そういう曖昧な状況だといまいち危機感がでないし、いざという時、町も対応できないと思いますのでもう少し明確な方向を示していただきたい。

あと人口ビジョンで人口が減って行くと書いてありまして、中に色々書いてあるんですが、人口が減ったときの課題って一体何なんですか。それがはっきりと書いていないので、自立したまちづくりと書いてあるが、人口が増えれば自立したまちづくりが出来るのか、住民を増やしましょうとか企業誘致をしましょうとか、私達が転入してきてから20年30年たちますが全然増えていないという気がしますので、その課題が大きいと思います。今の課題がなんなのかをお伺いしたいと思います。

町長

まず水の備蓄ですが、全町民の3日分の飲料水は確保しています。なぜ3日間かといいますと、よっぽどのがない限り3日あれば外からの応援がくるからです。町内に地下に埋まっている耐震性貯水槽は3つあって、そのうちのひとつが笹尾中央公園にあります。その水は飲める水なのでそこで飲料水は確保します。あと、最初に水道施設の老朽化の話をさせてもらいましたが、壊れてしまうと水の供給に問題がでますし、災害時施設が壊れた後に修繕すると莫大なお金がかかりますのでその前に整備をさせていただきたいと思っています。

あと、人口が減ると何が困るかという話ですが、税収が減ります。税収が減って、人が減るなら、それに見合ったサービスにすればいいと思われるかもしれませんが、サービスはこれからどんどん増えていきます。なぜなら高齢化するからです。ですから、お金はかかるけれども収入は減る、これが問題です。

男性

それは分かるのですが、そういうことをもっと明確にしたほうがいいんじゃないかと言っているんです。人口が15,000人になったら財源がこれだけ減ります、高齢化にかかる負担がこれくらいかかります、行政の施設の維持管理費用がこう変動します、こういうことをもっと明確にビジョンを描いたらどうですかと言っているんです。

町長

去年の町政懇談会で人口減少と財政状況の予想推移が書かれた資料を示させていただきました。単純に言えばお金の問題です。ちっとも変わってないと少し企業誘致の話もでしたが、そのとおりになんです。土地がないんです。企業を誘致するだけの大きな場所がないんです。実は東員病院の東側にハイブリットパークというのがあるんですが、これは民間の土地なんです。なかなか動きがなかったのですが、少し動きがありました。まだ企業名は発表できないのですが、7月中には立地協定を結びますのでそのときには発表できると思います。そこ以外には企業誘致というのは非常に難しいと考えていただきたいと思います。外部から呼び込んで財政を何とかするというのは難しいので、内部で、みんなで稼いでみんなで消費する、内部でお金を循環させていくような仕組みを作っていくないと、だんだんと活力を失っていくと思っていますので、なんとかその仕組みを作っていくしたいと思います。

男性

交通安全と在宅医療の2点伺いたいと思います。先日岐阜県の海津市で小学生の列に車が突っ込むという痛ましい事件がありました。近所では危険な運転をする車があるという情報があって上手くそれが伝わってなかったという話もありました。私は朝犬の散歩を1時間くらいしてしまして、危険な箇所を2箇所ほど見つけたのでご検討願いたいと思います。

1つが、城山中央集会所の前の交差点です。冬になると、ちょうど児童の登校時間に東から昇ってくる朝日が眩しくて、信号が見えないんです。たまたま私そこで2件事故を見まして、消防団詰め所のところのブロックが崩れるなど事故の痕跡がまだあります。子ども達が信号待ちをしているときのもらい事故を心配しています。対策は

なかなか難しいと思いますが、児童の信号待ちの場所を少し奥にするとか指導をしていただきたいと思います。

2つ目が笹尾郵便局の前で、横断歩道があるんですが、結構みなさん使用しています。そこは、西からも東からも坂になっていてちょうど底になっているような感じで、非常にスピードが出るんです。ですから、スピードを落としていただくか、横断歩道を強調するような注意喚起、例えば一部だけカラー舗装していただいたり手前に標識を立てて頂いたりとかをしていただきたいと思います。

在宅医療についてですが、町政懇談会の前に町のホームページを見させていただいて、町でも色々と検討していると分かったのですが、一部分からない部分がありまして、在宅医療の目標があって、現時点でどれくらいの達成度なのかを教えてくださいたいと思います。

町長

交通安全については、担当課で現地確認させていただいて対応出来るところは対応させていただき、公安委員会に言わなければいけないところは言わせていただきます。いますぐどうこうという返答は出来ません。申し訳ありません。

在宅医療については、三重県内でも少ないのですが、四日市の山城にいしが在宅ケアクリニックというのがありましてここは在宅医療専門なんです。ここが中心となって在宅医療の輪が広がってきています。幸いなことに東員町はそのいしが在宅ケアクリニックのエリアにすっぽり入っています。ただご承知のように東員町には大きな病院がありません。在宅医療は、桑名西医療センターやいなべ総合病院などの大きな病院と連携をとらなければならないと思っています。在宅医療は桑員地区全体で、広域で考えていかなければならないのではないかと私は提案しています。いしが在宅ケアクリニックの拠点を東員町や桑名市に作っていただければ大きな病院と連携がとれると思います。具体的にはまだ進んでいませんが、桑名保健所の所長とその方向で話を進めつつあります。石賀先生ともその方向でお話をさせていただいておりますので、2、3年後にはかたちが見えてくると思っています。

男性

人口の減少については私も危機感を持っているのですが、私のような団塊の世代は、今は元気ですが、10、20年後には町にお世話になってくると思います。人口減少と高齢化で二つの理由で税収が減っていき、かかるコストは増えていくということで大丈夫かと不安はあります。そんな中で、農業とか小手先の話がありましたが、そんなもので本当にいいのかと、東員町には土地がいっぱいあるじゃないですか。もっとダイナミックに出来ないんですか。国がどうこうではなくて東員町として。

町長

私も同じ気持ちです。国がどうこういっても東員町は進めていけばいいじゃないかというお話だと思いますが、それが出来ないんです。規制がかかっていまして、農林水産省は農地を減らすなと言いつつ、農地を開発しようとしたら都市計画の担当は農地転用出来るんですよ、担保出来るんですよ、と言うんです。そうしないと認めてく

れない。勝手に土地を開発することは出来ない。だから我々は困っているんです。地方創生と言っているのだからもうちょっと地方の意見を聞いて欲しいと。今おっしゃられたように、そういう意味で東員町のかたちを変えていかないと東員町の将来はないと思っています。ですから、今県と議論しながら付加価値の上がるような使い方が出来る開発をやらせてくれと農林水産省や国土交通省にかけあっています。5年間言い続けているんですが、ようやくテーブルに乗ってくれました。これから少し進んでいくのかなと希望的観測を持っています。少し強引にでも前に進めていきたいなと思っています。以前無理やりやっちゃって、後から注意うけても戻せるわけないんだからやっちゃえという話をしたら職員からそれだけはやめてくれと言われました。本当に難しいです。

特に夏には東員 I C が開通して東員町のポテンシャルが上がりますので、これまでと同じ土地の使い方ではもったいないと思っています。国土交通省の人は、インターチェンジが開通するんですからこれを活用してください、と言うんです。それなら活用できるようにしてくれと。そんなことで、もうちょっと使い勝手のいい方にもっていきたくてそんな風に思っています。なんとか頑張りますのでよろしくお願いします。

女性 広報1月号の新春座談会を読ませてもらいました。東員駅を中核としてコンパクトシティを作りたいということを書いてあったのですが、見込みというか計画的にはどうなっているのでしょうか。

町長 鉄道の駅を降りて何も無いのはおかしいと思うんです。東員駅の南は7~8haくらいあるんですが、ここをちょっとした街に出来れば駅と役場が続きます。役場の裏には中部公園、スポーツ公園があって大きな公共エリアが広がっています。そこに色々な機能を備えていきたい。住宅が出来ればすぐに駅があるし、役場がある。そういう小さなコンパクトな街が出来れば東員町は変わっていくのかなと思っています。これは5年間ずっと言っていますが、先ほどの規制の話もありなかなか進んでいません。あそこは農業振興地域の農地ということで絶対に変えてはいけない地域なんです。それを国土交通省とか農林水産省にかけあってなんとか開発できるようにしたい。あそこだけではないんですが、そういうことを考えています。

男性 前町長の時にふれあい農園を返すという話がありました。東員駅の開発を兼ねて駅前後のふれあい農園を返すという噂が一時ありました。途中でその話が途切れてそのまま今までできていますがどうなのでしょう。

政策課長 東員駅の北側に住宅開発という話が現実になりました。土地の調査をしたり、地権者の意向調査もしました。ただ、地権者の同意を得ることが出来ず住宅開発は頓挫いたしました。ですので、今現在ふれあい農園の土地を返していただくという話はありません。

女性

子育てをされていて改善して欲しいところが3つあります。幼稚園・保育園に東員町の体操をつくるとか英語の先生をよぶだとか、特色のある幼稚園・保育園にしていただければいいなというのと、子育て支援センターが少なく土・日曜日開講してないので開講していただきたいのと、以前出産祝い金があったんですがなくなってしまったので復活を考えていただけたらなと思います。

町長

今、国は認定こども園という方向に向かっていますが、これは保幼一体化のことで東員町が国よりも先んじて行っています。これまでこの保幼一体化というのが東員町の子育ての特色だったんです。また、教育委員会で16年一貫教育というのをやっていて、これはお母さんのお腹の中から中学校卒業まで責任を持ちますよというものです。教育長の受け売りですが、東員町の教育は質を高めているということです。例えば保育園の先生の正規職員率は70%近いです。三重県内の他の市町は50%くらいで、低いところは30%くらいです。また障がいのある子ども達などのサポートのために支援員というのも配置させていただいております。待機児童もゼロです。5歳児だけですが、保育料も無料です。

出産祝い金、入学祝金ありました。これは一時だけのお金です。東員町としては一時のお金ではなく、ちゃんと子どもが育つ環境を整えたい、ということで地味かもしれませんが、質を高めるということにお金を使っていくということです。ちゃんと子どもが育つ環境を整える仕組みの中でお金を使っていきたいと思いますのでご理解をいただきたいと思います。

子育て支援センターについては、我々も考えていかなければならないと思っています。これは持ち帰らせていただいて検討させていただきます。